

岩手社保協ニュース

2023年11月30日（火）No13（通刊145号）

〒020-0015

盛岡市本町通 2-1-36 浅沼ビル 6F

TEL・FAX 019-654-1669

E-mail i-shahokyo@aurora.ocn.ne.jp

改憲・軍拡より、大幅賃上げ・社会保障の拡充を！

11・3決起集会



11月3日、「改憲・軍拡より、大幅賃上げ・社会保障の拡充を！」を掲げた決起集会が水産会館で開かれました。国民大運動実行委員会、県社協が主催し、オンライン併用で80人余が参加しました。

同実行委員会の中野のみ子代表は、岸田政権はガザの人的休戦を求める国連決議に棄権し、大軍拡と9条改憲に固執していると批判。コストカット経済を反省せず、大幅賃上げの具体策も示さない自民党政治を変えようと呼びかけました。

講演で、唐鎌直義・佐久大学特任教授は、日本の社会保障は欧米に比べて大きく立ち遅れており、削減から拡充への転換をめざす「異次元のたたかい」が必要だと指摘しました。

各団体から「地域医療の充実を」（県医療局労働組合）、「公務職場に働く会計年度任用職員の処遇改善を」（盛岡市職員労働組合）、「弱者に増税を押し付けるインボイスは中止を」（岩手県商工団体連合会）、「食料自給率の向上を」（岩手県農民連）などの発言がありました。

来賓あいさつで日本共産党の吉田恭子衆院東北比例候補は「憲法9条を持つ日本こそ、ガザの人的休戦をめざす外交を進めるべきだ」と強調。達増拓也知事からメッセージが紹介されました。

集会後参加者らは「ガザへの攻撃をやめろ」「岸田政権は退陣を」と声を響かせ、市内をデモ行進しました。

軍事費の拡大より社会保障の拡充を

11/2 院内集会、請願署名約10万筆提出

中央社保協は11月2日、「軍事費の拡大より社会保障の拡充を求める」院内集会を行い、国会請願署名約10万筆を紹介議員通じて臨時国会に提出しました。

住江憲勇代表委員は社会保障費抑制の一方で軍事費を急拡大する岸田政権を厳しく批判、窪田光代表委員は「軍備の拡大ではなく、国民の命と生活をも守る予算こそ経済が回る。署名で世論を広げ行き詰まる国政



を転換しよう」と訴えました。紹介議員は35名（11/6現在）です。《中央社保協ニュースより》

補聴器購入費補助 県内 7 番目

宮古市で 10 月から始まる

補聴器購入費用の独自補助が広がっています。今年度は釜石市、陸前高田市に続き、10 月からは宮古市でも始まりました。県全体で 7 市村となりました。

宮古市は、高齢者のコミュニケーション機会の促進と日常生活の質の向上を図ることを目的に、65 歳以上の市民を対象に、両耳の聴力レベルが 40 デシベル以上 70 デシベル未満の中等度難聴者を対象としています。対象者は 2900 人の想定で 4 万 2 千円を上限

に補助するとしています。(10 月 8 日付宮古民報、宮古市広報より)

盛岡市議会あて請願署名・・・11 月末まで

現在、盛岡生健会、年金者組合盛岡支部、岩手社保協連名で、標記の署名に取り組んでいます。

11 月末締め切り、12 月初めに提出予定です。引き続きご協力をお願いします。

各自治体の実施状況

市町村	開始年	対象年齢	補助内容
大船渡市	01 年 4 月	18 歳以上	原則 1 割自己負担 (基準額 41,600~43,900 円) 両耳 50 以上 70 デシベル未満または 1 耳 50 デシベル以上・他耳 90 デシベル未満
遠野市	09 年 4 月	60 歳以上	原則 1 割自己負担 (基準額 34,200~43,900 円) 両耳 55 以上 70 デシベル未満
九戸村	20 年 12 月	18 歳以上	原則 1 割自己負担 (基準額 41,600~43,900 円) 両耳 40 以上 70 デシベル未満
久慈市	22 年 9 月	65 歳以上	原則 1 割自己負担 (基準額 41,600~43,900 円) 両耳 40 デシベル以上、身障手帳交付対象にならない人
釜石市	23 年 4 月	60 歳以上	生保・非課税世帯は購入費の 1 割負担 (上限額 50,000 円) 課税世帯は購入費の 1/2 負担 (上限額 30,000 円) 両耳 40 以上 70 デシベル未満または 1 耳 50 以上・他耳 90 デシベル未満
陸前高田市	23 年 4 月	65 歳以上	補助限度額 (住民税所得割非課税 40,000 円。同課税: 20,000 円) 片耳 50 以上 70 デシベル未満。滞納がない人。
宮古市	23 年 10 月	65 歳以上	1 割自己負担 (上限税込 42,000 円)。 両耳の聴力レベルが 40 以上 70 デシベル未満。5 年間に 1 度の助成

独自補助の内容は県資料及び各自治体の実施要綱などから抜粋。詳細は各自治体の要綱等をご確認ください。

総がかり実行委員会

「軍拡・改憲より暮らし・平和を」

日時: 12 月 16 日 (土) 13 時 30 分~16 時

会場: 盛岡市勤労福祉会館大会議室

+オンライン

講師: 金平 茂紀さん

(元 TBS「報道特集」特任キャスター)

参加: 無料

第 28 回県社保協定期総会

日時: 12 月 7 日 (木) 17 時 45 分~

会場: 県民会館第 3 会議室

内容: 24 年度活動方針 (案)

23 年度決算報告、会計監査報告

24 年度予算 (案)

など

高すぎる国保税は引き下げを!

陸前高田市で「均等割」最大 13,000 円減免

物価高騰対策として「均等割」減免を実施

2023 年度の国保税の改定状況は、遠野市と雫石町が引き上げ、引き下げたのは西和賀町のみでした。

その後、陸前高田市が物価高騰対策として「均等割」の減免を決定しました。

内訳は、医療保険分の均等割額を 7,500 円減の 22,600 円に、後期高齢者支援金分は 2,600 円減の 7,500 円に、介護保険分は 2,900 円減の 8,400 円で、合わせて 13,000 円が減免されます。ただし、介護保険分は 40 歳から 64 歳の人のみ該当するので、40 歳未満は 10,100 円の減免となります。(表 1)

市独自の減免制度で 10 万円の負担軽減に

表 2 は、陸前高田市の「均等割」の減免前と減免後の保険税額をモデル世帯^{※1}と比較しました。同市は 2020 年度に資産割をなくし、所得割、均等割を大幅に引き上げました。同時に 18 歳までの子どもの均等割は全額免除としました。その結果、子ども 2 人分の均等割約 8 万円が免除され、保険税は 421,270 円から 340,870 円に減額されました。2023 年度は、夫妻 2 人分の均等割 20,200 円が免除され 320,670 円となりました。市独自の減免制度によって 10 万円の負担軽減が行われました。

「都道府県単位化」以降、15 市町村で引き上げ

表 3 は、2017 年度から 2023 年度までの市町村国保税の改定を、モデル世帯^{※1}で算定したものです。

2018 年度から国保の「都道府県単位化^{※2}」が行われ、2023 年度までの 6 年間で 15 市町村が引き上げました。13 市町村は据え置き、引き下げたのは 5 市町にとどまりました。

1 兆円の公費投入で協会けんぽ並みの保険税に

国保加入者の貧困化がすすむ一方、保険税は事業主と折半する協会けんぽの約 199,000 円と比べ、盛岡市、大船渡市、釜石市、矢巾町などの国保税は 2 倍もの格差があります。独自減免している陸前高田市でも約 12 万円の差があります。(表 3)

格差是正は国の責任です。1 兆円あれば均等割は

表 1 陸前高田市の減額の内訳

区分	22 年度の均等割額	23 年度の均等割額
医療保険分	30,100 円	22,600 円 (-7,500 円)
後期高齢者支援金分	10,100 円	7,500 円 (-2,600 円)
介護保険分 [※]	11,300 円	8,400 円 (-2,900 円)

※介護保険分は 40 歳から 64 歳までの人のみ該当します。

表 2 均等割の減免前と減免後の比較(陸前高田市)

2020 年度		2023 年度	
減免前	減免後	減免前	減免後
421,270 円	340,870 円	421,270 円	320,670 円

※1 モデル世帯

給与年収 400 万円(所得 276 万円)の 4 人世帯(片働きの 30 代夫妻と小学生以上の子 2 人)として算定。

※2 国保の「都道府県単位化」

国保を市区町村と都道府県の共同運営の保険とし、財政の監督責任を都道府県に負わせるもの。市区町村が独自に行う国保税軽減のための公費繰り入れ(法定外繰り入れ)の解消、「保険税水準の統一」を目指しているため、国保税の大幅引き上げをもたらしている。

なくせませ。公費投入で均等割・平等割保険税を廃止し、協会けんぽ並みに引き下げるよう求めましょう。

国保税引き下げの運動を広げましょう

岸田政権は、格差をただすどころか「保険料水準統一加速化プラン」を設け、2024 年度から「保険者努力支援制度」による財政優遇を強化する方針です。全国に先駆けて保険料統一化を決めた大阪府では、23 年度の改定で 9 割超の自治体が値上げしました。

岩手県は今年度中に保険税水準の統一の考え方や目標年度、統一に向けた取り組みなどの方針を定めるとしています。

国保法で国保税を決める権限は市町村にあります。

◆1 兆円の公費投入で「均等割・平等割」を廃止し協会けんぽ並みの保険税の実現 ◆県・市町村の独自補助の拡充 ◆一般会計からの法定外繰入の拡大 ◆国保会計に積み立てられた「基金・剰余金」の活用など、国保税引き下げの運動を強力に広げましょう。

表3 市町村国保税の改定状況(2017~2023年度)

給与年収400万円の4人世帯(片働きの30代夫妻と小学生以上の子2人)の場合

岩手社保協作成

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	17年度と23年度の比較(増減)	協会けんぽとの差額
	税額(円)								
盛岡市	400,100	400,100	400,100	400,100	400,100	400,100	400,100	0	200,792
宮古市	349,020	349,020	298,220	320,400	320,400	320,400	320,400	-28,620	121,092
大船渡市	336,370	336,370	336,270	336,370	336,270	429,130	429,130	92,760	229,822
奥州市	336,920	282,220	282,220	282,220	347,700	347,700	347,700	10,780	148,392
花巻市	318,350	313,550	313,550	313,550	313,550	313,550	313,550	-4,800	114,242
北上市	356,780	356,780	356,780	356,780	356,780	356,780	356,780	0	157,472
久慈市	318,060	317,090	315,890	334,050	334,050	334,050	334,050	15,990	134,742
遠野市	317,110	330,710	330,710	330,710	330,710	330,710	377,070	59,960	177,762
一関市	371,627	351,587	351,121	350,655	379,018	379,018	379,018	7,391	179,710
陸前高田市	315,400	315,400	315,400	340,870	340,870	340,870	320,670	5,270	121,362
釜石市	298,990	298,990	298,990	349,650	349,650	402,030	402,030	103,040	202,722
二戸市	354,020	338,700	338,700	338,700	338,700	338,700	338,700	-15,320	139,392
雫石町	313,900	343,200	343,200	343,200	343,200	343,200	385,130	71,230	185,822
葛巻町	278,310	278,310	278,310	278,310	278,310	278,310	278,310	0	79,002
岩手町	374,000	374,000	374,000	374,000	374,000	374,000	374,000	0	174,692
八幡平市	357,190	357,190	357,190	357,190	357,190	357,190	357,190	0	157,882
滝沢市	378,930	378,930	378,930	378,930	378,930	378,930	378,930	0	179,622
紫波町	312,880	361,550	370,110	370,110	370,110	370,110	370,110	57,230	170,802
矢巾町	337,570	337,570	337,570	371,690	371,690	424,050	424,050	86,480	224,742
西和賀町	355,020	345,360	345,360	345,360	345,360	345,360	318,700	-36,320	119,392
金ヶ崎町	354,350	353,350	353,350	353,350	353,350	353,350	353,350	-1,000	154,042
平泉町	332,720	332,720	332,720	332,720	332,720	332,720	332,720	0	133,412
住田町	363,500	370,700	370,700	370,700	370,700	370,700	370,700	7,200	171,392
大槌町	365,310	365,310	365,310	365,310	365,310	365,310	365,310	0	166,002
山田町	374,010	374,010	374,010	374,010	374,010	374,010	374,010	0	174,702
岩泉町	296,910	296,910	358,190	358,190	358,190	358,190	358,190	61,280	158,882
田野畑村	304,115	304,115	304,115	304,115	304,115	304,115	304,115	0	104,807
普代村	276,100	301,410	301,410	301,410	301,410	301,410	301,410	25,310	102,102
軽米町	291,590	291,590	291,590	291,590	291,590	291,590	291,590	0	92,282
洋野町	312,540	312,540	312,540	312,540	312,540	312,540	312,540	0	113,232
野田村	264,810	286,440	286,440	286,440	286,440	286,440	286,440	21,630	87,132
九戸村	270,770	270,770	270,770	270,770	270,770	270,770	270,770	0	71,462
一戸村	286,420	286,420	363,030	363,030	363,030	363,030	363,030	76,610	163,722
協会けんぽ	200,328	200,736	199,920	199,308	198,696	202,164	199,308	-1,020	

※2018年度から国保「都道府県単位化」が始まった。表は2023年度までの6年間の改定状況を、給与年収400万円の4人世帯(片働きの30代夫妻と就学児2人の場合)をモデルに試算。

※資産割(土地などの資産)は含んでいません。資産割がある場合は税額が異なります。

※宮古市は2019年度から、陸前高田市は2020年度から18歳までの子どもの均等割を全額免除している。さらに陸前高田市は、23年度から均等割を最大13000円減額(医療分7500円、後期支援分2600円、介護支援分2900円)した。これらも含めて算定した。

※表の一番下に「協会けんぽ」の保険料を記載した。2023年度の保険料率は9.77%(介護保険第2号被保険者に該当しないもの)で、労使折半で年199,308円である。